

九州イノベーション創出戦略会議（KICC） 令和6年度事業報告

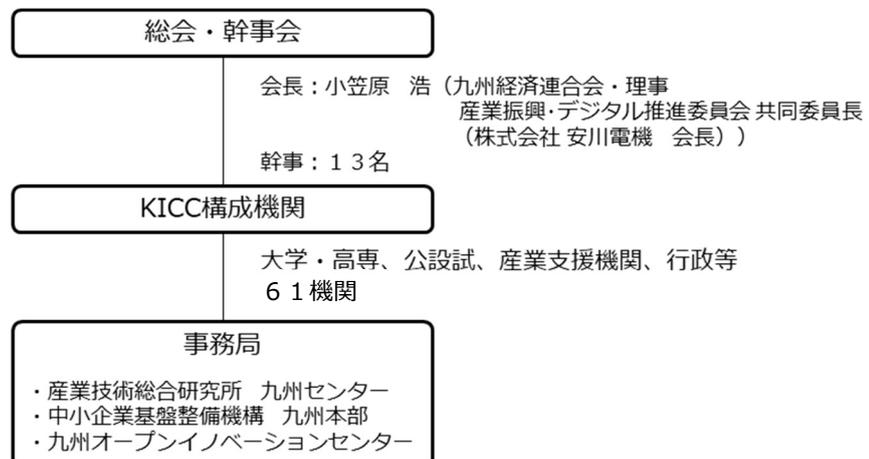
I. 令和6年度の取組みの概要

- 九州イノベーション創出戦略会議（KICC）は、九州域内の大学・高専、公設試、産業支援機関、行政等61機関が参加する広域連携産業支援組織で、平成20年の設立時から一貫して、イノベーションの創出を目的に活動してきました。
- 今年度のKICCの活動は、事業再構築や事業承継を契機とした新分野・事業展開、新商品開発にオープンイノベーションで取り組む、頑張る中小企業を支援するため、これまでの取組みを継承し、引き続きオープンイノベーションを推進し、政府が重点項目とするスタートアップ支援等の観点を盛り込むとともに、過年度の意見交換を踏まえた改善を加えつつ取り組んで参りました。
- また、KICC事業の活性化に向け、構成機関との意見交換を行うとともに、今後のKICCの在り方について議論しました。

【取組の柱】

- KICC 構成機関とのネットワーク強化
- ニーズ・シーズのマッチング事業化支援
- 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
- KICC 構成機関のコーディネータによるネットワークを活かした事業化支援
- 広報活動の実施

【 KICC の体制 】



II. 個別事業

1. KICC 構成機関とのネットワーク強化

(1) 通常総会の開催

- ・令和6年7月23日、博多サンヒルズホテル（福岡市）において、通常総会を開催し、令和5年度事業報告（案）、令和6年度事業計画（案）等に関し所要の審議を行った。

(2) 特別講演会の開催

- ・通常総会後に特別講演会を開催し、構成機関の関心が高いテーマである知財分野について特許庁企画調査課から「知財で切り拓くアカデミア発スタートアップの未来」のテーマで、また半導体産業が九州経済に与える影響等について、公益財団法人九州経済調査協会から「シリコンアイランド九州の未来」のテーマでご講演いただいた。

(3) 幹事会の開催

- ・KICC 事業の推進と円滑な運営を図るため幹事会を開催した。
第1回（7.4～7.10）：議題「通常総会議案書（案）について」
第2回（1.8～1.22）：議題「臨時総会議案書（案）について」

(4) ネットワーク活動

a 情報発信

- ・構成機関の公募情報や取組みなどの情報発信を実施した。

b K I C C の今後のあり方検討

- ・K I C C の今後のあり方検討の基礎データにするため「KICC 事業活動に関するアンケート」を行った。

実施時期	アンケート内容	主なアンケート結果、意見
9月20日～ 10月3日	① K I C C が実施している事業（講演会、交流会など）並びに Web ツール（開放試験分析機器 DB など）について利用状況やその評価	・産業支援機関コーディネータ交流会やオープンイノベーションセミナーは有益。 ・Web ツールの利用頻度は低く、大学や支援機関等の K I C C 以外サイトを利用。
	② K I C C との連携状況、K I C C に対する期待や推進すべき事業内容、九州広域連携プラットフォームの必要性	・K I C C との連携実績は皆無。 ・今後 K I C C への積極的な参加を希望する機関は 1 割程度。 ・K I C C （広域連携プラットフォーム）の解散については、7 割弱の機関が賛成。

- ・アンケートの結果を基に九州経済産業局殿とK I C C事務局で「K I C Cの今後のあり方」について熟議した結果、「K I C Cは設立から15年を経て地域での一定の役割は終わったものとして、現在の事業のうち有益な事業やイベントは別の機関等に移管し、令和6年度末をもって発展的に解散してはどうか。」との考えに至った。

C 臨時総会（書面議決）の開催

- ・1月27日～2月10日の期間で書面開催。
- ・K I C Cは令和6年度末をもって解散することを議決した。

臨時総会	K I C Cの解散について（案）について承認
------	-------------------------

(5) K I C C 構成機関のコーディネータ間のネットワーク構築

K I C C 構成機関間の「コーディネータの顔が見える関係づくり」のため、昨年度からの継続イベントとして、産業支援機関コーディネータ交流会を九州経済産業局と共同開催した。

開催日	参加者	参加産業支援機関
1月22日	29名	①福岡県産業・科学技術振興財団、②北九州産業学術推進機構、③九州先端科学技術研究所、④飯塚研究開発機構、⑤佐賀県産業振興機構、⑥長崎県産業振興財団、⑦くまもと産業支援財団、⑧宮崎県産業振興機構、⑨かごしま産業支援センター、⑩九州オープンイノベーションセンター、⑪久留米リサーチパーク ⑫産業技術総合研究所九州センター

2. ニーズ・シーズのマッチング事業化支援

(1) K I C C 構成機関向けオープンイノベーションセミナー

- ・地域で頑張る研究開発型中小企業、スタートアップ企業がオープンイノベーションで取り組む新市場創出、新事業展開、新製品開発等の事例を紹介し、オープンイノベーションの実践に必要なスキルや組織のあり方等の知識を習得できるようなオープンイノベーションフォーラムを九州経済産業局などと開催した。

開催日	概要
2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・会場：esports Challenger's Park（福岡市） ・参加者：計98名（会場39名、オンライン：59名） ・講演1 株式会社ユニッジ Co-CEO 土井雄介氏 ・講演2 リックス株式会社 主任 福島豊仁氏 ・講演3 SBI インベストメント株式会社 次長 山崎卓郎氏 ・パネルディスカッション ・スタートアップのOI事例発表

3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進

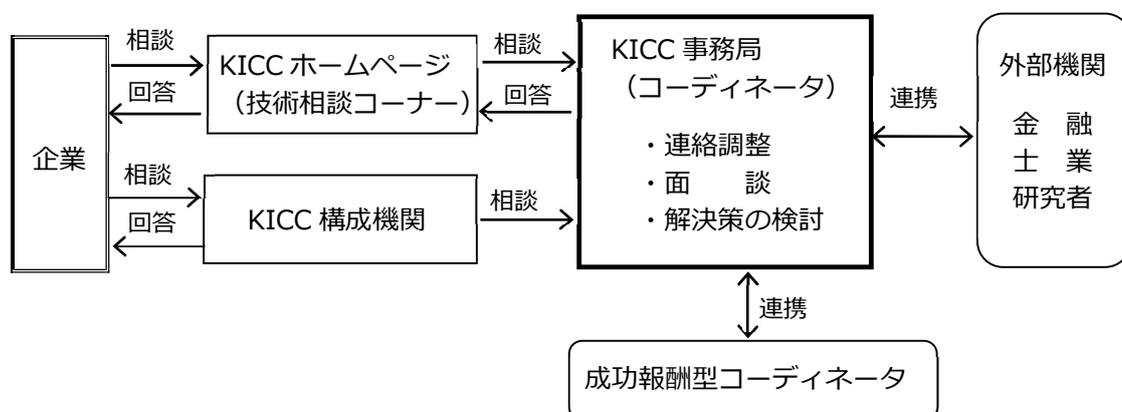
- ・構成機関のご協力により運用している開放試験研究機器データベース、コーディネータデータベースによる各検索サイトを引き続き運用した。

4. KICC 構成機関のコーディネータによるネットワークを活かした事業化支援

(1) 企業等の技術課題の解決に資するワンストップサービスの推進

- ・企業の様々な技術課題に対し、KICC の「技術相談ワンストップサービス」の仕組みを活かした取組みを行い、案件次第では KICC 構成機関のネットワークの活用や金融機関、土業等と連携して、ソリューションを提供した。
- ・また、KICC 構成機関の研究者等とのマッチングが必要な案件については、企業と大学・高専・公設試とのマッチングや産学連携を支援することにより、課題解決を促進した。
- ・KICC 構成機関のコーディネータ、マネージャー等の連携・交流を図るためコーディネータ検索システムのデータを更新し、逐次最新データとした。
- ・過年度の構成機関からの提案意見を反映し KICC ホームページの技術相談コーナーの申し込み様式を簡易なものに改善して企業からの相談利用の促進を図った。

技術相談ワンストップサービスの仕組み

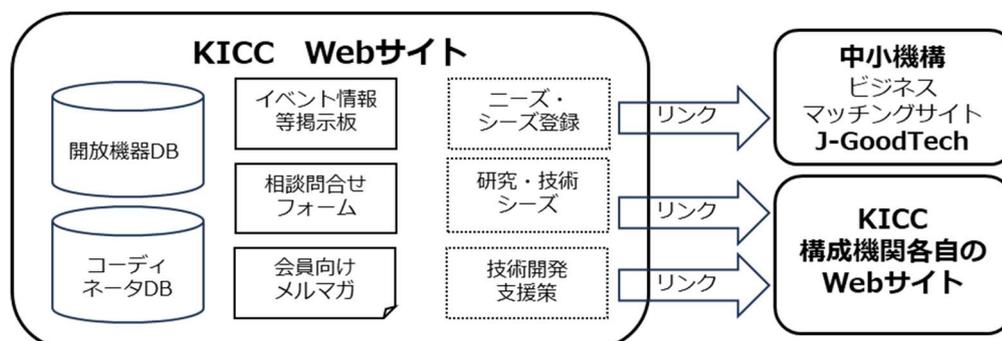


(2) オープンイノベーションイベントへの参加、個別相談

- ・九州経済産業局や KICC 構成機関等が主催するオープンイノベーションに関連するセミナーイベントへ参加し、相談ブースを設けてコーディネータが個別相談に対応した。

5. 広報活動の実施

- ・ KICC の Web サイト、各種の機会等を通して、KICC 事業や国等の支援施策等の情報の提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器や研究者の情報等の広報活動を行った。



Ⅲ. 決算額

件名	支出額 (千円)	項目
総会・特別講演会	337	会場費
Web サイト更新	1,246	委託
旅費・通信運搬費	254	講演者謝金含む
合計	1,837	【予算】 2,200 千円

以上